様式例１１（設立時）

覚　　　　　　　書

〈記入例〉

　○○不動産（以下「甲」という。）と、○○　○○（以下「乙」という。）は、甲乙間で締結した○○年○○月○○日付け賃貸借契約（以下「契約書」という。）の乙の表示に関し下記のとおり取り決めた。

記

契約書における乙の表示は、乙が千葉市長に申請中の医療法人の設立が認可され、法人が設立した日をもって、「医療法人社団○○会」（理事長（氏　　　名）、（法人の所在地））と読み替える。

賃貸借契約期間についても長期間とする。

本覚書の成立を証するため本書２通を作成し、当事者各１通を所持する。

　　　　令和　　年　　月　　日

甲　　住　所

　　　会社名

　　　　代表者名　　　　　　　　　　　　印

乙　　住　所（自宅の住所）

　　　医療法人社団○○会

　　　　設立代表者　　　　　　　　　　　印

（作成上の注意）

１．下記の２つの要素を満たすものであれば、「不動産賃貸借契約引継承認書」「念書」「確認書」等その様式、形態を問わないこと。

　　（１）賃貸人を個人から法人に引き継ぐための「読替の特約」

　　（２）長期間にわたり賃貸借契約を継続することの保証

２．貸主が複数である場合には、甲欄を連名で作成するか、貸主ごとに作成するかいずれかの方法で構わないこと。

様式例１１（定款変更時）

覚　　　　　　　書

〈記入例〉

　○○不動産（以下「甲」という。）と、○○　○○（以下「乙」という。）は、甲乙間で締結した○○年○○月○○日付け賃貸借契約（以下「契約書」という。）の乙の表示に関し下記のとおり取り決めた。

記

契約書における乙の表示は、乙が千葉市長に申請中の定款変更が認可された日をもって、「医療法人社団○○会」（理事長（氏　　　名）、（法人の所在地））と読み替える。

賃貸借契約期間についても長期間とする。

本覚書の成立を証するため本書２通を作成し、当事者各１通を所持する。

　　　　令和　　年　　月　　日

甲　　住　所

　　　会社名

　　　　代表者名　　　　　　　　　　　　印

乙　　住　所（自宅の住所）

　　　医療法人社団○○会

　　　　理事長　　　　　　　　　　　　　印

（作成上の注意）

１．下記の２つの要素を満たすものであれば、「不動産賃貸借契約引継承認書」「念書」「確認書」等その様式、形態を問わないこと。

　　（１）賃貸人を個人から法人に引き継ぐための「読替の特約」

　　（２）長期間にわたり賃貸借契約を継続することの保証

２．貸主が複数である場合には、甲欄を連名で作成するか、貸主ごとに作成するかいずれかの方法で構わないこと。